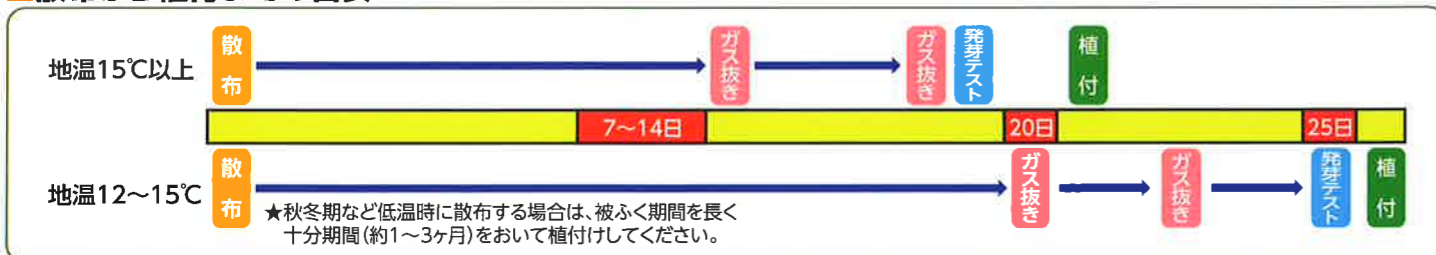


散布から植付までの目安



散布から植付までの作業手順

1 土壌水分の調整と整地

- 植物の残さ等を取り除いてください。
- 砕土はていねいに行ってください。
- 土壌が乾いている場合、予め散水して土壌水分を整えてください。

2 適切な土壌水分量

- 水分がないと分解しません。土を握って形が崩れない程度の土壌水分。

3 均一散布

- バスサンバー等の散布器具で均一に散布してください。
- ※吸収付防護マスク・ゴム手袋・長ズボン・長袖の作業衣・ゴム長靴等を着用してください。

4 ロータリーで混和

- 土壌混和は15~25cmの深さまで十分に混和してください。

5 散水

- 水分が不足すると分解が遅れて効果不足や薬害の原因にもなるため必要に応じて散水してください。

6 表土を被ふく

- ただちにビニール等で被ふくしてください。

地温による被ふく期間の目安

地温	被ふくの日数
25°C以上	7日~10日
20°C	10日~14日
15°C	14日~20日
10°C~15°C	20日~30日以上

7 ガス抜き(最低2回)

- 散布後ビニール除去後に第1回のガス抜きを行い、その2~3日後に再度行って、完全にガス抜きをしてください。

8 発芽テスト

- ガスが完全に抜けたかどうか、レタス、だいこん、カラシナ等のタネを用い発芽テストをしてください。

9 施肥・植付け

- 必ず無病の苗を用いてください。
- 堆肥は完熟堆肥を使用してください。

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤を処理する前に耕起整地してください。
- 本剤は土壌中の水分によって分解し、ガスを発生することによって効果を発揮するもので、土壌の種類、水分含量、温度等により効果にふれが出るので、以下のことに十分留意してください。
 - ①地温が10°C以下のときは使用しないでください。
 - ②砂質土壌や乾燥した土壌で使用する場合は、ていねいに混和した後灌水して適度の水分を与えてから被覆してください。
 - ③次の場合はガスの拡散が遅いので被覆期間を適宜延長してください。
 - ア. 重粘土質の土壌の場合
 - イ. 降雨などにより土壌水分が多い場合
 - ウ. 地温が低い(15°C以下)場合
- センチュウが多発する条件、或いはトマト、なすではセンチュウ類に対する効果が劣る場合があるので、センチュウを防除対象とする場合には、他の防除方法と併用してください。
- ガス抜きが不十分であると薬害が生じるおそれがあるので、少なくとも2回は耕起によるガス抜きを実施してください。なお、ガス拡散の遅い条件の場合は特にていねいに行ってください。
- 本剤を全面に処理する場合、深さ15~25cmに土壌と十分に混和してください。特に、やまのいもに使用する場合、深さ50~60cmに土壌と十分に混和してください。混和後ビニール等で被覆または鎮圧散水してガスの蒸散を防いでください。7~14日後被覆を除去して、ガス抜きを行ってください。
- 本剤を苗立枯病または芝の目土用土に処理する場合、本剤を十分混和後ビニール等で被覆し、7~14日後被覆を除去して、ガス抜きを行ってください。
- 本剤が作物に直接ふれると薬害を生じるので、周辺に作物がある場合にはかからないように十分間隔をおいて薬剤を処理してください。
- 温室やビニールハウスなどの施設内に作物がある場合、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- りんご、桑、なし及びぶどうに使用する場合は、被害株を抜き取った跡地の周辺部を含めてできるだけ広めに本剤を散布し、深さ25~40cm(りんごの場合は深さ40cm)に土壌と均一に混和してください。本剤処理20日後に被覆を除去して耕起し、翌春に植え付けてください。また、りんご、なし及びぶどうでは植え付けた年は果実を収穫しないでください。
- ごぼうに使用する場合は生育抑制・歧根等の薬害を生じるおそれがあるので、処理からは種までの期間を十分とり、ガス抜きをていねいに行い、発芽テスト等で安全を確認の上、は種してください。
- しょうが及び薬しょうがの根茎腐敗病に対しては、多発発生条件では効果が不十分な場合があるので注意してください。
- は種又は定植の20~10日前に使用する場合は、地温20°C以上の条件に限って使用してください。
- 芝の目土に処理する場合は、目土中に含まれる雑草種子を殺す目的で目土を処理するものであるため除草剤として、芝生に直接散布する事のないように注意してください。
- 葉たまねぎ(苗床)及びたまねぎのは種14日前までに使用する場合は、本剤を均一に散布後、レーキ等で浅く(2~3cm)混和し、ビニール等で被覆してください。7日後に被覆を除去し、さらにその後7日間放置し、は種前にレーキ等で浅く整地によるガス抜きを行ってください。
- たまねぎに秋期に使用する場合は、本剤を均一に散布後、十分混和し、ビニール等で被覆してください。約20日後に被覆を除去してガス抜きを行ってください。は種は翌春に行ってください。
- てんさいに秋期に使用する場合は、本剤を均一に散布後、十分混和し、ビニール等で被覆してください。約20日後に被覆を除去してガス抜きを行ってください。は種は翌春に行ってください。
- たばこに使用する場合は、次のことに注意してください。
 - ①秋期に使用する場合は、本剤を均一に散布後、十分混和し、混和後鎮圧してガスの蒸散を防ぎ翌春耕起した後、植え付けてください。
 - ②春期使用する場合は、本剤を散布後、十分混和し、混和後そのまま放置し、2週間後に畦立てをし、その2日後にビニール等で被覆してください。さらに2週間後に植え付けてください。
- ミツバチの巣箱周辺での使用はさけてください。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 〔医薬用外劇物〕** 取扱いは十分に注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。皮膚に付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 本剤の処理の際は吸収缶付き(活性炭入り)防護マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣、ゴム長靴などを着用してください。ガス抜き作業の際及びガス抜き作業前に施設内に立ち入る場合にも同様の防護マスクを着用してください。また、薬剤が皮膚に付着したり、粉末や発生するガスを吸い込んだりしないよう注意し、作業後は直ちに身体を洗い流し、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いは十分に注意してください。
- 作業に際してはガスに曝露しないよう風向き等を十分配慮してください。
- 作業中及びくん蒸中の圃場等へ小児等作業に関係のないものや、家畜、家禽が立ち入らないよう十分注意してください。
- 住宅付近での使用に当っては、ガスによる危害の発生防止に十分配慮し、特に住宅に隣接する圃場では使用しないでください。
- 水にふれると有毒なガスが発生するので保管及び取扱いに注意してください。

- 魚毒性等・・・水産動植物(魚類、甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管・・・密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した所、カギをかけてください。種子、苗、肥料及び他の農薬などと隔離してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
 - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
 - 空袋・空ボトルは圃場などに放置せず適切に処理してください。

- 施設内で使用する場合は、十分換気をして作業を行ってください。本剤は地温が高いほどガスの拡散が速いので、作業はできるだけ早朝など地温の低い時に行い、散布後速やかに土壌混和し被覆してください。大型の連棟ハウスでは、散布から土壌混和、被覆までの一貫作業を小面積ごとに順次行うようにしてください。
- 本剤をクロロピクリン剤と同時処理する場合は、ガスの抜けが遅く薬害を生ずるおそれがあるので、ガス抜きからは種または定植までの期間を適宜延長し、発芽試験で安全を確認の上、は種または定植を行ってください。

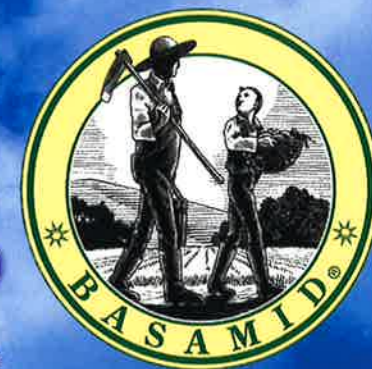
●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

土壌消毒剤

バスアמיד®

微粒剤

成分:ダゾメット...96.5%



刺激臭が少なく使いやすい薬剤です。

広範囲の土壌病害・線虫に効果があり、雑草にも有効です。

粒剤なので散布が簡単です。

作物の生育が良くなります。



詳しい製品情報はHPで
ご確認いただけます。



アグロ カネショウ株式会社
東京都港区赤坂4-2-19

ⓂはKSTの登録商標

適用内容

平成29年7月18日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	ダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
キャベツ	苗立枯病(リゾフトニア菌) 株腐病、萎黄病、パーティシリウム萎凋病 根こぶ病、ネコブセンチュウ 一年生雑草	20~30kg/10a	は種又は定植 21日前まで	1回	1回	本剤の所定量を均一に散布して 土壌と混和する。
はくさい	根こぶ病、尻腐病、根くびれ病 黄化病、ネコブセンチュウ 一年生雑草	10~20kg/10a	は種21日前まで			
だいこん	ネグサレセンチュウ		は種又は定植 21日前まで			
かぶ	パーティシリウム黒点病 根こぶ病、萎黄病、一年生雑草	20~30kg/10a	は種又は定植 21日前まで			
こまつな しろな	萎黄病、根こぶ病、一年生雑草		は種10日前まで は種21日前まで			
ブロッコリー カリフラワー	根こぶ病 一年生雑草	20kg/10a	は種又は定植 21日前まで			
つぼみな			は種又は定植 14日前まで			
チンゲンサイ			は種又は定植 14日前まで			
ひろしまな			は種12日前まで			
みぶな みずな	立枯病(ピシウム菌) 根こぶ病、一年生雑草	20kg/10a	は種35日前まで			
はつかだいこん	一年生雑草	20kg/10a	は種35日前まで			
きゅうり	苗立枯病(ピシウム菌) 苗立枯病(リゾフトニア菌)	200~400g/m ³				
かぼちゃ	つる割病、半身萎凋病 一年生雑草	20~30kg/10a	は種又は定植 21日前まで			
	苗立枯病(リゾフトニア菌)、 フザリウム立枯病、一年生雑草					
メロン	黒点根腐病、つる割病 半身萎凋病、黒変根腐症、一年生雑草 紅色根腐病	30kg/10a				
	苗立枯病(リゾフトニア菌)	200~400g/m ³				
すいか	つる割病、一年生雑草	20~30kg/10a				
にがうり	つる割病、一年生雑草、ネコブセンチュウ	20~30kg/10a				
トマト ミニトマト	苗立枯病(リゾフトニア菌)	200~300g/m ³				
	萎凋病、褐色根腐病、根腐萎凋病 半身萎凋病、ネコブセンチュウ、一年生雑草 紅色根腐病	20~30kg/10a				
	青枯病	30kg/10a				
なす	苗立枯病(リゾフトニア菌)、半身萎凋病 ネコブセンチュウ、一年生雑草	30~60kg/10a				
	苗立枯病(リゾフトニア菌)、半身萎凋病 萎凋病、青枯病、一年生雑草	30kg/10a				
ピーマン	苗立枯病(リゾフトニア菌)、半身萎凋病 萎凋病、青枯病、一年生雑草	20~30kg/10a				
ばれいしょ	そとか病、粉状そとか病 黒あざ病、萎凋病、一年生雑草	20~30kg/10a	植付21日前まで			
とうがらし類	苗立枯病(リゾフトニア菌)、萎凋病 疫病、青枯病、一年生雑草	30kg/10a	定植21日前まで			
ねぎ	黒腐菌核病	30~60kg/10a				
	紅色根腐病、ネギハモグリバエ	30kg/10a	は種又は定植 14日前まで			
わけぎ	苗立枯病(リゾフトニア菌)、白絹病 小菌核腐敗病、萎凋病、根腐萎凋病 ネコブセンチュウ、一年生雑草	20~30kg/10a				
	苗立枯病(リゾフトニア菌)、一年生雑草	30~60kg/10a	は種又は定植 21日前まで			
	黒腐菌核病					
	紅色根腐病					
たまねぎ	乾腐病、ネコブセンチュウ	20~30kg/10a				
	苗立枯病	20~40kg/10a				
	黒穂病、一年生雑草	20~30kg/10a	秋期(翌春は種) は種又は定植 21日前まで			
葉たまねぎ(苗床)	一年生雑草	10~20kg/10a	は種14日前まで			
にんにく	紅色根腐病、イモグサレセンチュウ 一年生雑草	30kg/10a	植付28日前まで			
らっきょう	根腐病、乾腐病 ネコブセンチュウ、一年生雑草		植付21日前まで			
にら	乾腐病、紅色根腐病、一年生雑草	20~30kg/10a	は種又は定植 21日前まで			
にんじん	萎凋病、根腐病、しみ腐病 ネコブセンチュウ、一年生雑草					
パセリ	苗立枯病(リゾフトニア菌) 疫病、萎凋病、一年生雑草	30kg/10a	は種10日前まで			
セルリー	萎黄病、一年生雑草					
あしたば	苗立枯病(リゾフトニア菌)	20kg/10a	は種21日前まで			
しゅんぎく	萎凋病、一年生雑草	20~30kg/10a	は種28日前まで			
ごぼう 葉ごぼう	萎凋病、黒あざ病、一年生雑草	30kg/10a	は種21日前まで			
レタス	すそ枯病、一年生雑草	20~30kg/10a	は種又は定植 14日前まで			
	ネグサレセンチュウ	30kg/10a				
非結球レタス	すそ枯病、根腐病、一年生雑草	20~30kg/10a				

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	ダゾメットを含む農薬の総使用回数	使用方法
食用ぎく	センチュウ類 (ハガレセンチュウを除く) 萎凋病、半身萎凋病、一年生雑草	20~30kg/10a	は種又は定植 21日前まで	1回	1回	本剤の所定量を均一に散布して 土壌と混和する。
	青枯病	30kg/10a				
ふき	半身萎凋病、一年生雑草	20kg/10a				
みつば	立枯病	30kg/10a				
豆類 (未成熟、ただし、えだまめ、 実えんどう、さやえんどう、 さやいんげんを除く)	苗立枯病(リゾフトニア菌)、 茎腐病、一年生雑草	30kg/10a	は種21日前まで			
さやいんげん	苗立枯病(リゾフトニア菌)、 葉腐病、一年生雑草	20~30kg/10a	は種又は定植 21日前まで			
えだまめ	ダイズシストセンチュウ	30kg/10a				
さやえんどう 実えんどう	苗立枯病(リゾフトニア菌)、 茎腐病、一年生雑草	20~30kg/10a	植付21日前まで			
かんしょ	紫紋羽病、つる割病、 ネコブセンチュウ、一年生雑草					
こんにやく	根腐病、白絹病、乾腐病、一年生雑草	30~60kg/10a	定植21日前まで			
さといも	乾腐病、ネグサレセンチュウ、 一年生雑草					
さといも(葉柄)	乾腐病、ネグサレセンチュウ、 一年生雑草	20~30kg/10a				
しょうが	根茎腐敗病	30kg/10a				
葉しょうが	一年生雑草	20~30kg/10a				
	根茎腐敗病	30kg/10a				
みょうが(花穂) みょうが(莖葉)	立枯病、一年生雑草	30kg/10a	定植42日前まで			
いちご	萎黄病、萎凋病、炭疽病 芽枯病、一年生雑草	20~30kg/10a	仮植又は定植 21日前まで			
	青枯病、疫病	30kg/10a				
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ 立枯病、萎凋病、株腐病 根腐病、一年生雑草	20~30kg/10a	は種21日前まで			
	立枯病、萎凋病、株腐病 根腐病、一年生雑草		は種10日前まで (地温20℃以上)			
てんさい	叢根病、苗立枯病	200~400g/m ³	秋期(翌春は種) 植付21日前まで			
やまのいも	根腐病、褐色腐敗病、一年生雑草	20~30kg/10a	定植21日前まで			
つるむらさき	ネコブセンチュウ	30kg/10a	は種14日前まで			
しそ	青枯病、一年生雑草	20kg/10a	定植30日前まで			
モロヘイヤ	ネコブセンチュウ	100g/m ²	は種42日前まで			
チャービル	なし	50~100g/m ²	夏期~秋期			
ぶどう	白紋羽病					
りんご	紫紋羽病、白紋羽病					
花き類・ 観葉植物	苗立枯病(リゾフトニア菌) 株腐病、球根腐敗病、首腐病、半身萎凋病 萎凋病、萎黄病、白絹病、立枯病 根頭がんしゅ病、ネコブセンチュウ	20~30kg/10a	は種又は植付前			
	一年生雑草	20~60kg/10a				
カーネーション	萎凋細菌病	30kg/10a				
きく	センチュウ類 (ハガレセンチュウを除く)	20~30kg/10a				
ストップ	苗腐病	30~40kg/10a	植付前			
	萎凋病					
ぼたん しゃくやく	根黒斑病					
スターチス	萎凋細菌病					
グロリオサ	紅色根腐病					
スイトピー	腰折病					
さくらそう	軟腐病					
トルコギキョウ パンジー	根腐病	20~30kg/10a	は種又は植付前			
アイスランドポピー	萎縮病					
せんりょう	立枯病、一年生雑草					
つつじ類	センチュウ類、一年生雑草					
樹木類(苗木)	一年生雑草		植付前			
たばこ	角斑病、野火病、センチュウ類	10~20kg/10a	秋期(翌春植付)			
	立枯病、黒根病、疫病	20~30kg/10a	春期(植付前)			
芝	疫病、センチュウ類	5~10kg/10a	秋期(翌春植付)			
	一年生雑草	20~30kg/10a	雑草発生前			
桑	目土用土1m ² 当り 100~200g	30kg/10a	は種又は定植 21日前まで			
	1株当り(4m ²) 400~600g		夏期~秋期			